

3 . 赤潮調査

赤潮調査の結果は、西海区水産研究所及び4県水試と連携を図り、「有明海・八代海漁場環境研究センター」のホームページにおいて情報提供

http://www.snf.affrc.go.jp/cont01/kaiku/kaiku_center.html

〈目的〉

有明海における赤潮発生の実態把握と迅速な情報提供

〈調査期間〉

平成16年11月～平成17年3月

1回/週以上

〈調査場所〉

6地点(X1～X6)

〈調査内容〉

採水によって、水温、比重、DIN(無機態窒素)、プランクトン沈殿量、クロロフィル a を測定

《関係機関による観測》

福岡県水産海洋技術センター有明海研究所
(19地点)

佐賀県有明水産振興センター(8地点)

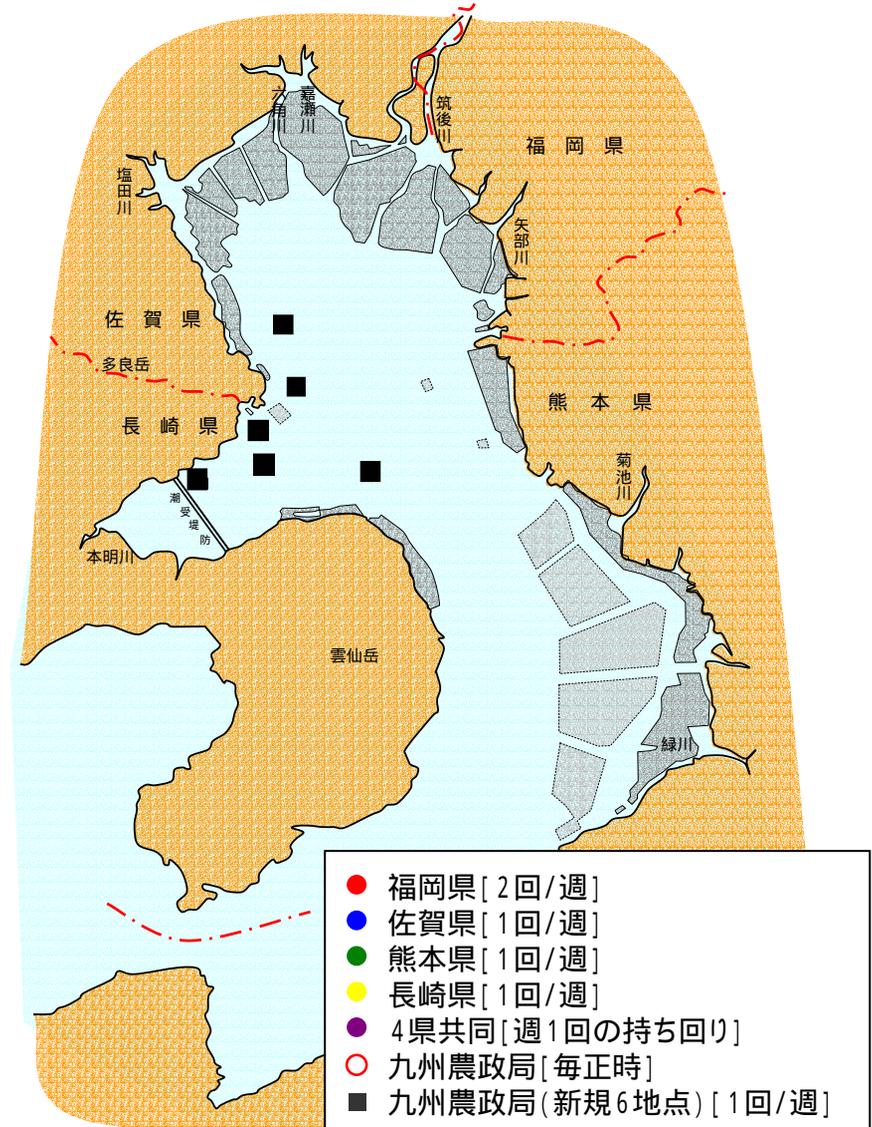
熊本県水産研究センター(10地点)

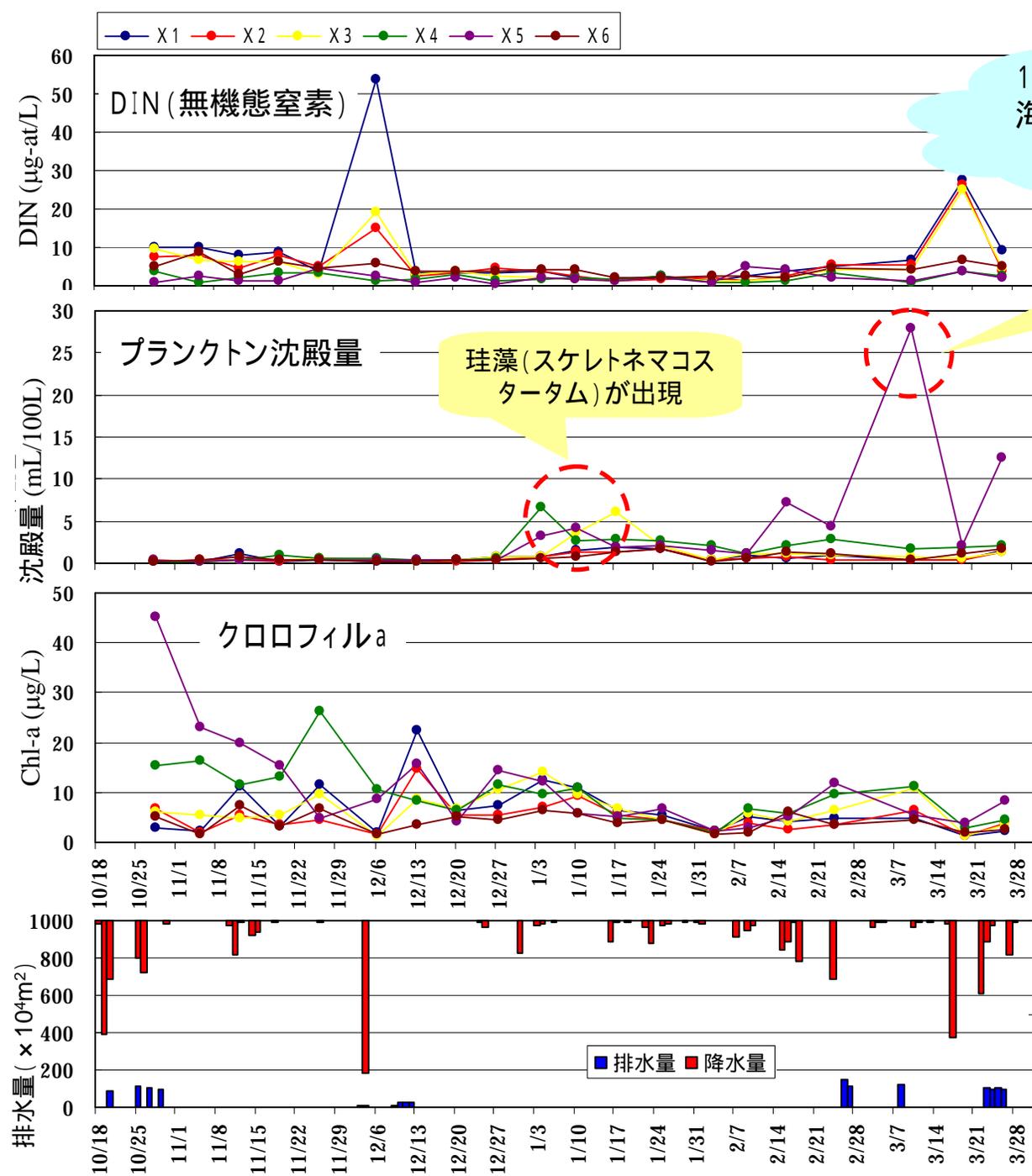
長崎県総合水産試験場(16地点)

西海区水産研究所

(閉鎖性海域赤潮防止対策事業

(5地点：4県持ち回り調査))





16年度のノリ作期には、諫早湾海域においては、大規模な赤潮発生情報はなかった。

植物プランクトンではない (X5)

珪藻(スケルトネマコスタータム)が出現



4 . 干瀉水質淨化機能調査

(目的)

干潟の浄化機能を把握するため、干潟生態系モデルの精度の向上を図ること

(調査期日)

冬季調査:平成17年2月12日(底質調査)、平成17年2月13日(水質調査)

(調査内容)

測線調査・・・3調査測線(15調査点)における水質・底質、底生生物

面的調査・・・30調査点における水質・底質、マクロベントス調査

塩田川流量・流入負荷量調査・・・塩田川の流量・水質調査

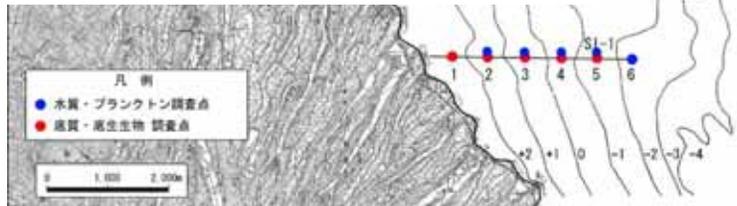
(調査地点)

引き続き春季・夏季・秋季のデータの取得を予定



測線調査の調査地点

塩田川流量・流入負荷量の調査地点



面的調査の調査地点